

山梨大学教育学部附属中学校スクールプラン

附属学校としての使命

- 中学校教育の研究、実験・実証
- 教育実習実施及び指導
- 研究成果公開、公立学校への協力、中学校教育推進

学校教育目標

- 学ぶことに誠実な生徒
- 健康で情操豊かな生徒
- 自らの可能性に積極的に挑戦する生徒
- 互いの良さを認める生徒

附属校園で育成を目指す「子ども像」

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見だし、解決に努力する積極性・先見性・創造性に富んだ子ども

先進的教育を実践し創造性、学びに向かう力を育成する学校づくり

先進的教育の実践

- ・ICTの良さを生かした教育の推進。
- ・クラウド型システムの効果的活用の定着とさらなる開発
- ・個別最適な学び、協働的な学びのいっそうの促進（令和の日本型学校教育）
- ・大学との連携による学びの深化
- ・スムーズな校種間接続に向けての実践

創造性、学びに向かう力の育成

- ・山梨大附属中型「主体的な学びのプロセスモデル」の実践
- ・総合的な学習（SELF）を中心とした探究的な学び（主体的対話的で深い学び）の充実
- ・新学習指導要領実施を受けての主体的・対話的で深い学びの充実

カリキュラムデザイン開発

- ・未来を創造する基盤となる資質能力（非認知能力、人間力等）の育成カリキュラムの開発と実践
- ・キャリア教育の充実のための教育活動の開発

- ICT活用による学びの個別化・個性化（達成状況による指導）
 - タイムレスな「まとめ」「振り返り」による学びの自覚化、効率化、視覚化
 - 学びの成果のデータベース化
 - 学力や学び方に応じる取組を実施し、学びの個別化・個性化を図る。
- 協働的な学びの開発、促進、充実
 - 若桐講座等大学資源の効果的活用

- 非認知能力の育成にともない創造性の育成
- 主体的な学びのプロセスモデルによる学びに向かう力育成
- 各教科・領域で「形成的評価⇒方略調整」の設定等のプロセスの導入
- 「学習調整の実施」「粘り強い取組」についての見取りと評価

- 4校園共同研究による非認知能力の育成
- 体験や実習を通し、生活の中で課題解決を目指す資質・能力育成のためのカリキュラムデザインの推進
- 資質・能力育成を目指す新教育課程の創造（要不要の見極め）
- 職場体験等による、役割・生き方を展望し実現する資質・能力の育成
- ICTを活用したキャリアパスポートの作成と活用

附属4校園連携 探究サイクル『「きりのは」で育む未来を拓く子ども』を踏まえた実践

・社会生活等の中から解決すべき課題を設定する。課題に対する自分なりの仮説を立てる。

・目的に応じて必要な方法・手段を選択し、情報を収集する。

（き）気付く

（り）理解する

（は）発展させる

（の）伸ばす

・学び方を振り返り、今後の学習や自分の生き方、社会生活等に工夫して生かす。

・構造や因果関係を分析し、目的に応じた論理的な考えを表現する。

保護者との信頼関係、地域社会や専門機関との連携を生かす学校づくり、誰もが活気にあふれる学校づくり

PTAや外部機関との連携の促進・充実
働き方改革推進によりやる気に満ち・意欲あふれる教職員の育成

- ・非常変災時における支援協力体制づくり
- ・実効性のある引き渡し訓練の実施
- ・効果的、効率的なPTA活動の推進と活動内容の充実
- ・大学や県・市教委との連携
- ・勤務時間の適正管理
- ・変形労働時間制の適正な運用
- ・業務内容の選択と均等化

- 非常変災時に学校の機能を維持するための連携協力
- PTA活動におけるICT活用
- PTA・若桐後援会・同窓会・附属4校園・山梨大学・県教委、甲府市教委・地区自治会等との積極的な連携
- 校務支援システムによる事務作業の効率化
- 勤怠管理システム運用による勤務の見える化
- 変形労働時間制や定時退勤日の設定による超過勤務の抑制と働き方改革
- 業務内容の見直しと選択による効率化推進

学校経営の重点

安全な教育環境で、安心して生きいきと学べる学校づくり

安全管理・安全指導徹底
UDの視点を取り入れたインクルーシブ教育・人権教育の推進・重視

基本方針

- ・危機管理マニュアルの整備
- ・多彩な場面設定による避難訓練の実施や避難方法の確認
- ・安全優先の諸対策推進と教育活動実践のバランスを重視した取組
- ・きめ細かな管理、指導体制の構築と実施
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育環境の整備
- ・個性を尊重する教育の実践

具体的方策

- 危機管理意識や能力の育成と緊急時を想定した訓練
- 保護者メールやHP等活用した緊急時連絡システムや出欠席の連絡手段の構築
- マニュアルをもとにした、感染症・熱中症の予防と対策の徹底、臨機応変な対応
- 時代に則し、社会の動きを見越し、生徒一人一人に寄り添った新たな学校の創造
- きめ細やかで丁寧な生徒理解、いじめの早期発見・未然防止・迅速な対応。大学との連携強化。
- 情報の視覚化や場・時間の構造化等の工夫による連絡の徹底
- 子どもの人権を尊重したさまじりの改善や環境の整備